

The Japan Association of Radiological Technologists  
ネットワーク・ノウ

# Network Now

2019 No.518

2 / 1

JART情報  
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会  
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1  
世界貿易センタービル31階  
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



## 2018年度 第7回理事会 開催される

2018年12月15日(土)午後2時から、本会事務所で2018年度第7回理事会が開催された。

本理事会では、初めに中澤会長より3つの話があった。1つ目は、診療放射線技師法の改正案 第三次答申書を会誌11月号に掲載し、会員に周知を図っていることについて。2つ目は、公明党「診療放射線技師制度に関する議員懇話会」、自由民主党「予算・税制等に関する政策懇談会」、自由民主党「診療放射線技師制度に関する議員懇話会」に出席し、チーム医療を推進するため、診療放射線技師の専門性を活用した読影の補助の推進。そして教育カリキュラムの改正では、画像診断学の単位改正の理解について、また診療放射線技師法の抜本的な改正について要望を提出したこと。3つ目は、European Society of RadiologyおよびEuropean Federation of Radiographer Societiesと連携し、本会が主体となり2019年のECRにおいて2月28日と3月1日の両日に、それぞれ8演題ずつのJapan Sessionの開催が決定したことを伝えた。

議題は「2019年度事業計画総括案について」「諸規程見直し案について」「2018年上半期自然災害義援金寄付先について」「会誌目次案・Network Now 台割案について」「会員損

害賠償責任保険制度の見直しについて」「JART委員任命について」および「入退会者・除籍者・免除者の承認について」であった。

報告事項は「執行理事報告」「会員動向報告」「月次決算報告」「厚生労働省関連委員会報告」「学術教育委員会報告」「新生涯教育システム委員会報告」「国際委員会報告」「編集委員会報告」「広報委員会報告」「調査委員会報告」「会員情報システム委員会報告」「災害対策委員会報告」「統一講習会実施運営委員会報告」「診療報酬政策立案委員会報告」「医療安全対策委員会報告」「入会促進委員会報告」「人材育成委員会報告」「第34回下関学術大会収支について」「第35回埼玉学術大会について」「第37回学術大会立候補の進捗報告」「地域理事報告」「医療被ばく低減施設認定更新報告」「委員会報告」であった。

議題の「2019年度事業計画総括案について」では、中澤会長より2019年度の事業計画案の10の柱の説明があり、次回理事会への継続審議となった。「諸規程見直し案について」では、会費納入規程および細則、委員会設置および運営に関する規程、旅費規程、分科会設置および運用に関する規程、認定診療放射線技師規程、表彰規程について、熊代副会長をはじめ各担当理事より説明があり、承認された。「2018年上半期自然災害義援金寄付先について」では、江藤理事より被災レベルを考慮し配分計算を行うこと、ガイドライン案について説明があり、承認された。「会誌目次案・Network Now 台割案について」では、富田理事および西川理事より説明があり、承認された。「会員損害賠償責任保険制度の見直しについて」では、上島事務局長より個人の保険料は現行のまま補償内容を引き上げるプランの説明があり、承認された。



「JART委員任命について」「入退会者・除籍者・免除者の承認について」も賛成多数により承認された。

報告事項の「会員動向報告」では、上島事務局長より説明があり、中澤会長より各地域の養成校に直接入会促進を行ってほしいとの発言があった。

「厚生労働省関連委員会報告」では、熊代副会長より、診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討会におけるワーキングで医学放射線学会と審議中であること、また医療機器の保守点検指針の作成等に関する研究において、CTおよびMRI装置の研修、リニアックの保守点検および研修に関する指針の検討を行っていく方針であることが報告された。

「新生涯教育システム委員会報告」では、中村理事より生涯教育システムの概要の改正について報告があった。「調査委員会報告」では、廣木理事より給与の動向に関する調査について進捗報告があった。「会員情報システム委員会報告」では、加藤課長より公益CRMサービスが2020年11月30日に終了し、次期JARTISを検討中との報告がされた。「診療報酬政

策立案委員会報告」では、藤井理事より2020年度診療報酬改定要望のためのアンケート調査を実施する予定であるとの報告があった。

「第34回下関学術大会収支について」では、山内大会長より会計監査が無事終了したこと、また開催終了後報告および収支報告が行われた。収支差額は、参加見込み者数の増大などにより、収入が支出を上回ったとのことであった。「第35回埼玉学術大会について」では、田中大会長より進捗報告および予算について、富田実行委員長より企画について報告があった。「第37回学術大会立候補の進捗報告」についてはAACRT 2021と共催であり、篠原理事より東京都から立候補申請を提出し準備を進めている旨が報告された。次回理事会で承認されれば正式に決定する。

最後に、今後のスケジュールを確認し、本理事会は終了した。

詳細は、2018年度第7回理事会議事録（抄）を参照されたい。

## 2018年度 診療放射線技師養成機関・ 職域団体との懇談会 開催される

2018年11月22日(木)午後2時から、本会事務所で2018年度診療放射線技師養成機関・職域団体との懇談会が開催された。今回、ご参加いただいた養成機関は、国公立大学4校、私立大学16校、専門学校10校および職域団体から6団体で、総勢43人の方々にご出席いただいた。本会からは中澤靖夫会長、佐野幹夫副会長、熊代正行副会長、小田正記理事、江田哲男理事、中村勝理事、児玉直樹理事が出席した。

懇談会は江田理事の司会で始まり、中澤会長のあいさつに続いて、現在、本会が取り組んでいる事業展開について報告された。

内容は、統一講習会の進捗状況と今後の予定について述べられ、診療放射線技師学校養成所カリキュラム等改善検討会の進捗が報告された。主な論点として、新たに画像診断・技



術学が4単位増加となる予定だが、日本医学放射線学会より異議の申し入れがあったことと、世界標準である参加型の臨床実習としていきたい本会の考え方が述べられた。続いて、小田理事より医療放射線の適正管理に関する検討会についての報告、そして熊代副会長より医療機器の保守点検指針の作成等に関する研究についての報告がされた。

会場からは、診療放射線技師学校養成所カリキュラムに関して多くの質問があり、中でも参加型の臨床実習における諸問題や対応について活発に意見が交わされた。

最後に、中澤会長より技師の地位向上、教育、職域を守る職能団体が日本診療放射線技師会であり、各養成校に対し、都道府県の会長を招いて入会促進の場を設けていただきたいこと、そして本会主催の懇談会にご出席いただいた諸先生の方々へ感謝のあいさつが行われて閉会した。





## 国際専門放射線技師認定機構 (IABSRT) 理事会 開催される

2018年12月9日(日)に、タイ・バンコクのGrand Centre Point Ratchadamri Hotelで開催された国際専門放射線技師認定機構 (IABSRT) 理事会に、熊代副会長、児玉理事の2人が出席した。国際専門放射線技師認定機構は、8月第4週の日曜日に開催される国際認定試験の実施概要や試験問題作問責任国などの決定を行うため、年に1回12月に理事会を開催している。



日本・韓国・台湾・タイの代表者



タイ診療放射線技師会主催の昼食会

本理事会では、2018年度の国際認定試験の可否の承認 (5カ国トータルで592人の合格者)、2019年度の国際認定試験の日程、試験作問責任国および試験スケジュールが決定された。2019年度の国際認定試験は2019年8月25日(日)に実施されることが決定し、日本は2018年度と同様にCT・NM・USの3科目について試験作問責任国となった。また2018年度のUSにおいて合格率が低かったことが報告され、2019年度のUSの作問については、試験問題内容について各国と調整することとなった。

2019年度は理事長の交代がなされたため、タイ診療放射線技師会のSala Ubolchai会長が引き続き理事長となり、2020年度に交代することも確認された。理事長は1期2年であり、日本・韓国・台湾・タイの4カ国の持ち回り制となっている。



タイ診療放射線技師会から記念品の贈呈

## 放射線機器管理地域研修会 (島根県) 開催される

2018年11月18日(日)、島根県立中央病院 2階大研修室で「放射線機器管理地域研修会 (島根県)」が開催 (参加者数35人) された。

今回の講習会では、「医療機器における諸法令について」として関係法令や機器管理の重要性ならびに認定更新における書類等の注意点などを解説し、一般撮影・CT・造影剤自動注入装置・核医学のモダリティーごとに機器管理の方法と実践、そして課題についての講義が行われた。

2018年6月には、厚生労働省医政局通知において、医療機器の保守点検に関して新たにCT・MRI装置が保守点検計画を策定すべき医療機器に加わり、ますます診療放射線技師が中心となって医療機器の安全管理を実践することが重要となってきた。また多くの医療機器に関わる医療事故が発生しているが、その際には、必ず保守点検や日常点検の実施状況、および安全使用のための研修会が実施されていたかが問題となっており、本研修会が、私たち診療放射線技師自らの手で放射線関連機器の安全管理を実践し、安全・安心な医療の提

供につなげていくことが必要であると考えます。

2019年度も地域研修会は継続して開催される。講演を行うモダリティーについては、開催県の皆さまのご意見を取り入れ、プログラムを作成している。詳細はJART会誌・ホームページでご案内させていただくので、多くの診療放射線技師の皆さまのご参加をお願いしたい。

(放射線機器管理士分科会 中村泰彦)



## 2018年度 教育委員幹事会議・ 分科会合同会議 開催される

2018年12月16日(日)本会事務所で、午前11時より2018年度教育委員幹事会議、午後2時より2018年度分科会合同会議が開催された。

教育委員幹事会議では、初めに中澤会長よりあいさつがあり、児玉理事の進行により議事に入った。

報告事項は「2018年度学術関係事業報告」、議題は「2019年度学術関係事業計画(案)」「2019年度基礎講習医療基礎コース(ADセミナー)の開催について」「2019年度診療放射線技師基礎講習基礎技術コースの開催について」「2019年度フレッシューズセミナーの開催について」「業務拡大に伴う統一講習会の開催について」「分科会主催講習会の開催について」「生涯教育システムの概要」「e-ラーニングシステムについて」「2019年度診療放射線技師学術大会について」であった。議題の「e-ラーニングシステムについて」では、NECからシステムの概要について参考資料を基に詳細な説



分科会合同会議

明があり、質疑応答にも対応していただき活発な意見交換が行われた。

午後からの分科会合同会議は、中澤会長のあいさつの後、児玉理事の進行により議事に入った。

議題は「2019年度分科会編成について」「2019年度事業計画について」「分科会主催講習会開催要綱について」「全国学術大会におけるJART企画について」「生涯教育システムの概要」「e-ラーニングシステムについて」「分科会設置および運用に関する規程について」であり、報告事項として「2018年度事業別予算」「2018年度収支実績」が小田理事より報告された。

議題の「2019年度分科会編成について」は、3つの分科会会長の交代があり、放射線治療分科会に川守田龍分科会会長、消化管画像分科会に鶴沼清仁分科会会長、口腔・顎顔面領域撮影分科会に吉田豊分科会会長の紹介が行われ、各分科会会長より就任のあいさつがあった。「e-ラーニングシステムについて」では、教育委員幹事会議と同様にNECより説明があり、また各議題・報告内容についても多くの質問が上がり、活発な意見交換の後、閉会となった。



教育委員幹事会議



## 本会への入会手続きについて(お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- ❶ 本会ホームページ (<http://www.jart.jp>) から“新規入会はこちらから”をクリック
- ❷ 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL : 03-5405-3612 E-mail : [info@jart.or.jp](mailto:info@jart.or.jp)

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

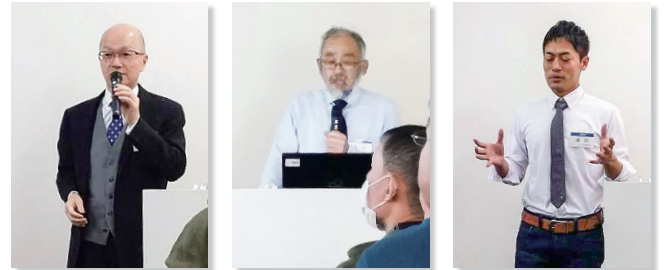
INFORMATION



## 放射線被ばく相談員フォローアップセミナー 開催される

標記セミナーは、放射線被ばく相談員認定者のブラッシュアップを主目的として本年度より実施しており、第2回が2018年12月16日(日)午前9時より、大阪市北区梅田において開催された。今回は24人の方々にご参加いただいた。

最初の講義は、確率的影響に関する相談に対応するための手法として、近年注目されているSolution Focus Approachが紹介された。次に、日本診療放射線技師会の放射線被ばく個別相談センターへ寄せられた相談事例の紹介、対応方法の解説、さらに近年の医療被ばく管理の動向についての講義が行われた。午後からは「がん」をテーマに、遺伝子レベルでの生物学の基礎知識から放射線の遺伝子への作用など、確率的影響に関してさまざまなデータを理論的に解説していただいた。



本分科会では、被ばく相談に役立つ知識を提供するために、来年度も新たな内容でフォローアップセミナーを開催する予定である。認定者のみならず、認定に興味をお持ちの方など、多くの方々のご参加を願う。

(放射線被ばく相談員分科会 会長 小松裕司)

## 第4回 骨関節撮影分科会セミナー (大阪) 開催される

2018年11月18日(日)、大阪市立大学医学部附属病院で標記セミナーが開催された。本セミナーは、骨関節領域の解剖、個体差や疾患、治療法に適した撮影技術、X線計測法についての講義があり、関西地方を中心に77人の参加を頂き、関心の高さが感じられた。

午前の講義は、三菱神戸病院の高井夏樹氏に、手指・手首・肘の関節に対する個体差に対応した撮影技術のご説明を頂いた。次に、今治第一病院の飯田譲次氏に、骨盤・股関節領域の撮影における注意点についてご説明いただいた。続いて、とうかい整形外科かわげの難波一能氏に、肩関節と肩上方懸垂複合体の撮影技術と画像読影についてお話しいただいた。午後の部は、福岡整形外科病院の香月伸介氏に、変形性膝関節症に対するX線撮影法、X線計測法や手術法についてご説



明いただいた。最後に、奈良県立医科大学附属病院の安藤英次氏より下肢荷重位撮影の有用性についてご説明いただいた。さらに外反母趾のX線計測線を、実際のシェーマに受講者自身に引いてもらうことで理解を深めていただいた。

休憩時間も短くハードな内容であったが、どの講義についても意欲的な姿勢で受講される様子がかがえ、実施したアンケートでは「満足」「次回も参加したい」という回答を多数頂いた。

来年度も、骨関節撮影分科会の活動として2回のセミナー開催(東京・熊本)が予定されている。モダリティーにかかわらず、若い方から部門を任されている責任者の方まで多くの方々に参加していただきたい。

(骨関節撮影分科会 鈴木義曜)



# レントゲン週間

## イベント開催される



本会では、1895年11月8日のW. C. レントゲン博士によるX線発見を記念し、毎年11月2日～11月8日の一週間を『レントゲン週間』と制定している。

この『レントゲン週間』にちなみ、放射線の専門家として正しい知識を国民に伝えるとともに、私たちの仕事を知っていただくためのイベントとして、本年度も各県（診療）放射線技師会の協力を得て、各地でさまざまなイベントが開催された。

## AKITA (本会共催イベント)

### 医療放射線画像展 2018

2018年11月10日(土) JR秋田駅ぼぼろード(ポスター展示)、ルミエール秋田(市民公開講座)

秋田県では「医療放射線画像展」と題して、私たちの業務に関わるポスターパネルを展示し、「広く県民の皆さまに知っていただく」を掲げ開催した。

本年度は、JARTの目標である被ばく低減施設認定秋田県5施設を目指し、それに伴い医療被ばくをテーマにと豊嶋会長から提案があり、これらを県民の皆さまへアピールすべく「われわれの仕事を紹介するポスター展示」と「医療被ばくを理解いただくための市民公開講座」の二本立てで開催した。(イベント動員数：157人 報告：岩根 敦)



## 宮城② 医療画像展(第13回大崎市健康と福祉のつどい)

2018年10月20日(土) 古川保健福祉プラザ

CT・MRIなどの画像を展示し、画像や検査・治療の説明を行った。またマンモグラフィー関連のパネルを展示し、乳がん検診の受診率向上の啓発活動を行った。頸部超音波検査の体験コーナーでは、超音波画像の解説も実施した。

本年度から1日の実施となったが、頸部超音波検査を406人が体験した。

頸部超音波検査の体験コーナーは人気があり、例年待ち時間が長くなっているため、昨年度から超音波装置2台態勢で対応している。なおこの超音波検査は、臨床検査技師会との合同企画である。

(イベント動員数：417人 報告：立花 茂)



## MIYAGI (本会共催イベント)

### 宮城① 医療画像展(第17回角田市保健福祉まつり)

2018年10月21日(日) 角田市保健福祉センター

CT・MRIなどの画像を展示し、画像や検査・治療の説明を行った。脳動脈瘤に対するコイル塞栓と経皮的冠動脈形成術のビデオを上映、併せてコイル・ステント・インプラントを展示し、治療内容の説明を行った。またマンモグラフィー関連のパネルを展示し、乳がん検診の受診率向上の啓発活動を行った。

(イベント動員数：230人 報告：立花 茂)



## IBARAKI (本会後援イベント)

### 茨城① 茨城県がん検診強化月間パネル展+放射線展+ピンクリボン運動

2018年9月30日(日) イーアスつくば2F

茨城県保健福祉部疾病対策課 がん対策推進室との協力の下、がん検診および乳がん検診の啓発活動を実施した。

乳がん触診ファントム体験など、大勢の市民に参加いただき、意識の高さを感じた。ハート風船+バルーンアート配布は今回も大人気で、医療被ばく相談(入院後検査について)にも対応した。

(イベント動員数：175人 報告：水木 一弘)





## 茨城② 放射線展+ピンクリボン運動

2018年10月21日(日) ファッションクルーズ1F

ファッションクルーズのイベントでは、乳がん触診ファントムを初めて触る方が多く見られた。また触診のやり方が分からないため自己検診をしていない方が30%いた。医療被ばく相談(退院後検査について)にも対応した。またハート風船+バルーンアート配布は、ハロウィーンのイベントを近くで行っていたため、特に人気があった。

(イベント動員数: 199人 報告: 水木 一弘)



伝えることができたと思う。

会場には、山梨県の「ゆるキャラ」武田菱丸君が登場し、家族連れの皆さんに大変喜ばれていた。

(イベント動員数: 126人 報告: 佐野 尚樹)



## AICHI (本会共催イベント)

### 第34回一宮市民健康まつり(愛知県診療放射線技師会尾西地区会 医療放射線展)

2018年9月2日(日) 一宮スポーツ文化センター

「第34回一宮市民健康まつり」の開催に伴い、その後援として医療放射線展を企画し開催した。当日は天候にも恵まれ、多数の市民の方々が来場された。

企画内容として、診療放射線技師の仕事紹介、放射線検査などの説明パネル展示、骨密度測定体験・乳房しこり体験・乳房自己触診体験・医療被ばく相談の各コーナーを設置した。来場者数は総数600人(大人492人、小人108人)、骨密度測定体験: 339人、乳房しこり体験: 225人、乳房自己触診体験: 140人、医療被ばく相談: 8人であった。診療放射線技師の仕事紹介においては冊子を配布しており、診療放射線技師が質問に答える場面もあった。このイベントの実施により、放射線や診療放射線技師への理解が深まったことと思う。

(イベント動員数: 624人 報告: 西田 達史)



## KANAGAWA (本会共催イベント)

### 第43回中区民祭り「ハローよこはま2018」

2018年10月7日(日) 横浜公園、日本大通り、象の鼻パーク

横浜市中区の大規模イベント「ハローよこはま2018」に神奈川県放射線技師会ブースを出展。乳房自己触診体験やパネルによる放射線検査説明、放射線サーベイ体験・被ばく相談を実施した。

当ブースにも大変多くの来場者があり、乳房自己視触診体験に239人、放射線サーベイ体験に67人ものご参加を頂き、大変盛況であった。またJARTの関連グッズ(ボールペンやクリアファイル、診療放射線技師のことがわかる本)などを配布し、がん検診啓発活動や放射線検査に関する広報活動を行った。

(イベント動員数: 300人 報告: 金岩 清雄)



## YAMANASHI (本会共催イベント)

### 放射線フェスタ

2018年11月3日(土・祝) イオンモール甲府昭和

山梨県診療放射線技師会は、レントゲン週間イベントとして「放射線フェスタ」を開催した。会場では、乳がん検診の啓発キャンペーンとして、乳がん検診から放射線治療に至る乳がん診療のパネル展や、骨密度測定検査を実施した。本イベントでは、女性会員の活躍により、乳がんについての正しい知識や検診の大切さを多くの県民の皆さまへ

## FUKUI (本会共催イベント)

### レントゲン週間 公益社団法人福井県診療放射線技師会「健康フェア2018」

2018年11月4日(日) ショッピングシティベル

公益社団法人福井県診療放射線技師会では、2009年より福井市保健計画「健康ふくい21」の推進事業に賛同し、毎年、県内20施設以上の医療団体と共催した「健康フェア」

を開催してきたが、本年度は単独で開催した。

会場がショッピングセンターということもあり、お年寄りから子どもまで、広い年齢層の方々と交流ができた。特に、頸動脈エコーや脳年齢測定コーナーでは、終日行列の状態で賑わっていた。Fieldoも幼児から大人まで行うことができ、市民の方々は元気に飛び回っていた。子ども向けのあめとりゲームでは、内視鏡用手術の鉗子を器用に使ってあめをつかんでいた。

今回、レントゲン週間のイベントとして開催したことにより、広い年齢層の方々に診療放射線技師という職業をアピールすることができた。

(イベント動員数：276人 報告：田中 弘一)



## SHIZUOKA (本会共催イベント)

### 第39回静岡ふれあい広場

2018年9月9日(日) 静岡市内 青葉シンボルロード

青葉広場において開催された「第39回静岡ふれあい広場」へ参加した。

超音波体験に100人、骨密度測定無料体験に203人の市民が訪れた。

他にも、乳がん検診のすすめに91人が参加、乳がん検診のパンフレットを渡した人数は100人に達した。医療被ばく相談にも21人の市民が訪れた。

(イベント動員数：445人 報告：愛甲 泰久)

## OKAYAMA (本会共催イベント)

### ピンクリボン岡山2018

2018年10月13日(土) 岡山コンベンションセンター レセプションホール

乳がん検診PRウオーク(2.3km)では、岡山駅周辺を歩き乳がん検診の啓発を行った。またメイン会場では、倉敷成人病センター 平田美夏技師による「乳がん検診について」の講演会が行われ、135人の方が聴講された。

講演会会場前のブースでは、被ばく相談やマンモグラフィ検診相談コーナーにも多くの一般来場者に来ていただいた。(イベント動員数：205人 報告：高尾 涉)



## SHIMANE (本会后援イベント)

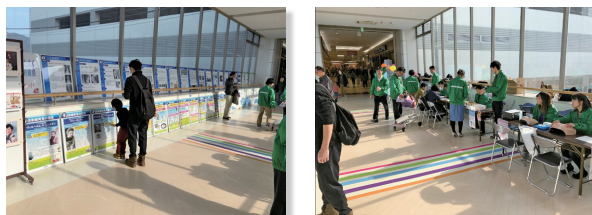
### 2018レントゲン週間・ピンクリボンフェスタ あなたのための医療放射線展

2018年12月2日(日) ゆめタウン出雲2F 連絡橋「海の道」

イベントとして骨密度測定・乳がん検診相談・診療放射線技師職紹介・医療放射線説明パネル展示・クイズラリーを行った。

当日は天候がよく、出足は鈍かったが外出日和で、お昼すぎから子ども連れの参加が多く見られ、来場見込み者数を大幅に上回ることができた。

(イベント動員数：179人 報告：生田 浩司)



## SAGA (本会后援イベント)

### 第16回レントゲン週間

2018年10月20日(土) アバンセ(佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター)

佐賀県健康増進課とのコラボレーションで16回目の開催となった。正午～午後4時までのイベントで、メイン会場では、講演会「きれいを『力』にする大人の基本メイク」が開催され大盛況であった。ブースでは、7つの他団体が趣向を凝らしたピンクリボン活動を行った。佐賀県放射線技師会はパネル展示、レント君の塗り絵を行った他、3Dワークステーション実演ショーも実施した。また診療放射線技師のパンフレットも配布した。

(イベント動員数：86人 報告：日高 義時)

## MIYAZAKI (本会后援イベント)

### みやざき健康ふくしまつり2018

2018年11月3日(土・祝) フローランテ宮崎

「みやざき健康ふくしまつり」において骨密度測定・放射線相談・パネル展示を行った。骨密度測定では、一般の方450人の測定を行った。

(イベント動員数：5,300人 報告：篠原 暢孝)





INFORMATION

第5回 **第35回日本診療放射線技師学術大会**  
**埼玉への道**

埼玉県診療放射線技師会  
編集情報委員会より

**古墳→のぼうの城→陸王=行田市**

**行田市**は、埼玉を語る上では外せない重要な街です。今でこそ埼玉の中心は浦和・大宮ですが、かつて行田地域は古代武蔵野国の中心でした。

一般的に、関東地方が歴史上知られるのは鎌倉幕府ごろからです。それまで歴史的な出来事といえば西日本が中心です。都である奈良・京都から見れば、関東は片田舎にすぎず、何があったか知らなくても仕方ありません。



埼玉（さきたま）古墳群

同じとき、豊臣の家臣であった石田光成は、忍城攻略を命ぜられていました。石田氏は財力にモノをいわせ、忍城の周りに堤防を造り、ド派手な水攻めを行います。ところが、城はこの水攻めに耐え、さらには堤防も決壊、石田氏を「浮き城か」と驚かせました。この出来事は『のぼうの城』として、小説・映画化もされており、ご存じの方もいるかと思います。なお、忍城は明治維新により取り壊され、その後、1988年（昭和63年）に城址公園として整備・再建されています。

戦国の世が終わり、江戸時代に入ると都から足袋製法が伝えられ、行田は近代まで足袋の生産が盛んでした。城址公園内にある**行田市郷土博物館**には、足袋にまつわる展示物がある他、時代を彩った大相撲力士の足袋作成に使用した足形などもあります。そして2017年に放送された、足袋製造の会社がランニングシューズを作るTVドラマ『陸王』の舞台となったことで、ロケ場所を見に行田市を訪れる観光客が増えました。さらに行田といえばB級グルメの「ゼリーフライ」もあります（第3回『埼玉への道』〔2018年12月号〕をご覧ください）。歴史・映画・ドラマ・B級グルメと、埼玉を知るには重要かつ魅力的な街です。一度訪れてみてはいかがでしょうか。

ところで、埼玉の銘菓に「十万石まんじゅう」があります。この十万石というのは、忍藩の石高の数から来ています。テレビ埼玉から流れるCMのフレーズは、埼玉県民であれば誰もが知っているはず。埼玉県民に「風が語り掛けます」という言葉を振ると、きっと決まったセリフが返ってくることでしょ。

陸王コラボレーション十万石まんじゅう



ざっくりとですが、鎌倉時代以前から神奈川北部・東京・埼玉の地域は「武蔵国」といわれ、国の中心は今の東京都府中市です。そしておよそ国の領域が成立したのは、さらに昔の6世紀になります。このころ（6世紀）、武蔵地域で地位争い「武蔵国造りの乱」があり、その際、北武蔵地域の勢力（埼玉）が勝利します。そのため古代武蔵野国の中心は埼玉となり、行田市周辺には当時の勢力を誇るかのように、5～6世紀にかけて**巨大古墳群**が築かれています。ちなみに、国の中心が府中に移ったのは、7世紀の“大化の改新”以降になります。

時は過ぎ、戦国時代の行田には、成田氏が領有した**忍城**がありました。豊臣秀吉が天下統一のため小田原城を攻略していた



忍城

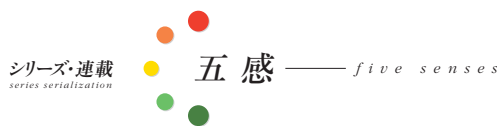


ゼリーフライが食べられる「かねつき堂」





## 不変性と普遍性に求められるもの…



われわれは、日常のさまざまな場面で単位を用いて物の量を認識しているが、私たち診療放射線技師にも縁の深い国際単位系(SI)の一部が改正されるという記事を目にした。来る5月20日の「世界計量記念日」に、質量・電流・温度・物質量の4つの定義が改正されるという。特に、分銅を基準とする質量の単位であるキログラムは、130年ぶりという歴史的改定となるらしい。

単位については、社会や計測技術の発展とともに人類の共通認識を経て変化しており、質量は近代以前には穀物の重さを基準とした時期や、世界交易が盛んな時期は「水1リットルの質量」を1キログラムと共通化した時代もあった。現在は、1889年当時の最高水準の冶金技術による白金とイリジウムの合金で作られた分銅である「キログラム原器」が世界基準と定義されている。

近年になってキログラム原器の表面の汚れや取り除く作業などにより、世界に一個しかない国際原器の信頼性が揺らいでいたらしい。7つの国際単位系の中で唯一の人工物というのも問題となっていたようだ。つまり、人工物の原器では不変性の質量の担保ができず、今回の改定に踏み切ったというわけだ。

それでは、新しい質量の定義は何かというと、量子力学の父と呼ばれたドイツの物理学者マックス・プランクが見いだした「プランク定数」で表すという。プランク定数は、アインシュタインによって質量との関連付けがされている定数でもある。測定方法は、特殊な天秤で片方に1キログラムの分銅を、もう片方にコイルを巻いた装置を設置し、コイルに電気を流すことで生じた力が分銅の重量と釣り合った時の電流を計測してプラ

ンク定数を割り出すという方法。もう一つの方法として、高純度の1キログラムのシリコン球体にレーザーを当てて体積を測定し、原子の数を推定して「アボガドロ定数」からプランク定数に変換する方法がある。難解な理解はさておき、この2つの実験からプランク定数を検証した結果、両方の測定方法の値がほぼ一致したことで、時代が変わっても1キログラムの質量が不変的に再現できる確証から、130年ぶりの定義の改定になったという。両方の値が「ほぼ一致」という一文が気になる諸氏もおられるかもしれないが、決して私たちの日常生活に影響が出るような値の話ではなく、ミクロの世界という極めて微小な値の誤差が大きくなるという問題点が解消される改正であり、その実験結果と事実を素直に受け入れたい。

他方、いわゆる「医療・介護制度の一括法案」(2015年4月施行)において、診療放射線技師法の一部改正が盛り込まれ、第24条第2項の業務拡大範囲の行為に対する、医療安全を担保するための統一講習会の受講期限が2020年3月までと残り1年に迫った。

私たち診療放射線技師職種には、普遍的な医療安全に対する自主的な取り組みが求められており、全国5万数千人の診療放射線技師全員が積極的に統一講習会を受講することが国民の負託に応えることになる。平成という時代から新しい時代を迎えるに当たり、言葉の使い方が間違っているかもしれないが、私たちは不変性ではなく、普遍性なる職業倫理への思いを共有したい。(文責：高嶋敏光)

## 2月・3月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- 「看護学」(実習)講習会： 愛知 2月23日(土)
- 「救急医療学」(実習)講習会： 愛知 3月10日(日)

## ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/schedule.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html)
- 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/ib0rgt0000004api.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000004api.html)

事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。  
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。